

耐雷型屋外収容箱

雷害による設備故障の軽減へ！



収容器具例

- ・リレーボックス
- ・信号機器
- ・通信機器 ほか

01. 耐雷性能



A、耐雷トランス

30kV以上の高い耐電圧性能を持ち、サージが機器に到達するのを防ぎます。

B、側面

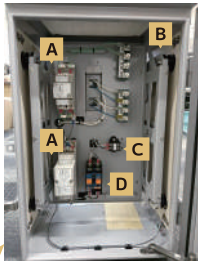
筐体が雷の影響を受けないように、絶縁サポータを挿入して器具箱から浮かせています。

C、端子台

電源からの雷サージを筐体が影響を受けないように絶縁サポータにより浮かせています。

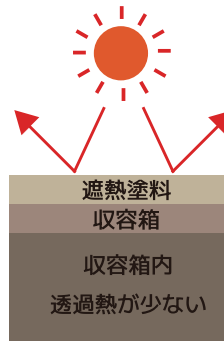
D、ブレーカー

過電流から機器を防護するために挿入しています。



02. 暑さ対策

遮熱塗装で筐体内部の温度上昇を防止。



太陽光（主に近赤外線）を反射させる効果を持つ「遮熱塗料」を用いて屋根や外壁を塗装し、建物が受ける熱の量を減らし、夏場の室温上昇を抑えています。

03. 結露対策

内側の桐板と側面ベントで温度変化を調整し、結露を抑制。



収容箱内部に桐板を使用しています。桐の特長の「調湿効果」を利用し、空気中の余分な水分を吸収することで内部の結露を効果的に抑制します。

04. カスタマイズ性

設置環境に合わせたカスタマイズ対応。



豪雪地帯には高加重対策、沿岸部には塩害、耐食対策など設置環境に合わせた器具箱を製作します。また、大きさや構造のカスタマイズも行っており、底板の分割構造で外箱だけの交換も容易にできます。



旭光通信システム株式会社

<https://kyokko-tsushin.co.jp/>

資料請求・お見積りなど

お問合せは、お電話またはお問合せメールフォームへお願いします。



営業所電話番号 お問合せメールフォーム